

● **会誌 41 号完成** 20 日（137 頁）表紙の写真「木津川の魚とり」いかがでしたか。これまでは文書を中心に項目ごとに次回に総括を役立てるように、詳しく振り返ってきましたが、20 年が経過しているので、このあたりで視覚による報告に重点を置くことに改善いたしました。記事に合致する写真になっているのか、読者の立場で説明や理解がされるのだろうか、と大変気になっています。写真の説明文はかなり不足し、イベントや会議など関連事業に参加されていない場合に十分意図が伝わっているのか、不十分さが目立ち、今後さらに改善が必要です。会員各位のご理解によってかなり補っていただいています。体裁はそこそこ整ってきましたが、内容と編集では、まだまだ技量アップを図らなければなりません。事務局会議では、きれいに出来上がった。カラーを希望するが経費面で無理だし、白黒で十分に伝えられるいい写真になっている。これで満足できると思うなどの評価がありました。会員各位のご感想をお待ちしています。

● **つる籠づくり 22 日** 模擬店での販売では完売できる作品です。人気の定番となっています。これまで、その製作材料に事欠かなかったのですが、近頃入手が困難になってきています。里山農園の入り口付近でのつる採取は難しく、かなり踏み分けて奥に入り込まないといけません。アオツルフジが最適の材料なのですが、とても選別していたら必要量の確保が難しく、遠慮なく各種を手当たり次第となります。随分と山もきれいになってきました。事務局会議では栽培することも考えなければ自然の材料では確保ができなくなるといった意見も出ていました。この日は 5 人が約 2 時間山に入りましたが、籠を作り始めると約 6 個の製品を完成させるだけで材料不足となりました。それでも精魂込めて作成しました。きっと購入された皆さんには、自然素材によるオリジナルですので気にいっていただけたと思います。

● **川に学ぶ全国大会第 16 回実行委員会…報告集づくり** 早くも 2 か月が経過しようとしています。実行委員会と運営委員会の各メンバー諸氏が揃って振り返りを繰り返しました。記録集の規模が 50 頁として編集することになりました。出席される皆さんは心から、川や水辺にほれ込んでおられる様子が熱心さに表れていました。

● **朝市 22 日 里芋 35 kg を芳川さんが提供される** 朝市について徐々に人気が出てきて、随分と定着してきました。一年前には月に一回の開催が 1 年後には二回開催となりました。22 日は 10 月の二回目の開催日となりました。開始の 8 時を過ぎると出店者は銘々に準備を進められ、品物が並べられます。時間になると、スピーカーで案内が響きます。次から次へと客足が続く約 40 分もすると、ほとんどの品物が売り切れになります。購入された方々は、遠くまで出かけなくても近くで購入できるのでうれしいという声が圧倒的です。喜んでいただいて、うれしくなります。

● **保全推進ネットワーク第 3 回設立準備会 24 日開かれる 意見交換進む** 京都府の絶滅の恐れのある生き物を申請し、その管理保護に努力している諸団体はオオキンレイカ、アユモドキ、ベニバナヤマシャクヤク、オグラコウホネ、レンリソウ、フナバラソウ、カスミサンショウウオの現地関係者や学識経験者など 17 団体の集まりとなっています。この日は団体の名称や目的、予算や会費、役員などについての規約原案を練りました。結成総会については、次回 12 月 5 日に相談することになりました。ご出席は舞鶴市など丹後地方から出席がありました。

● **全日本水環境大賞と日本自然保護大賞に応募する** 日本河川協会からの日本水大賞と日本自然保護協会の日本自然保護大賞への応募が呼びかけられて、締め切り日が 10 月の 31 日になっています。里山の会では 10 月は「里山講演会」「会誌 41 号の発刊」が続き、かなりのエネルギーが必要とする取り組みが連続しますので、申請書記入が遅れに遅れていました。とにかく初めての応募なので、勝手にわからず 22・23 日の二日間で何とか記入できました。事務局会議で原案を提案して、検討いただきました。とりあえず不十分な内容ですが、ダメもとで申請することになりました。

● 里山農園20枚目の田んぼの開拓が完成に近づく つる籠づくりの蔓採取と併せて教育棟の周囲の草刈りを実施しました。オオムラサキの観察会（7月）にきれいに刈り取ったのですが、夏が過ぎると大きく生い茂りました。周囲を刈取り、イノシシ柵の外側と斜面の刈取り、竹を切ると随分と景色が様変わりしました。こうした手入れをした景色が維持されると、教育棟が座敷としての雰囲気がすっかり良くなりました。高台からの景色と野鳥の鳴き声、さわやかに吹く風、素晴らしい自然庭園です。ここで小川さんの尽力で、什器類の格納庫が完成したので、安全性が向上し、多様な取り組みに対応できる条件が整ってきました。次に床板の整理整頓が完成すると通年でのイベントが考えられることになります。冬の昆虫観察会とオオムラサキの幼虫観察会・炭焼き体験、春には七草摘みと七草粥 春の野草を味わう会、夏には蛍の夕べと里山音楽会 秋にはお茶会や各種収穫祭、年間を通じて自前の施設として誰に気兼ねなく自由に開催が可能になります。手入れを少しずつ、積み重ねれば、活用の幅が大きく、多様になり、里山農園と教育棟の機能が発揮される日が楽しみです。

● いよいよ秋の展示発表の幕開けの時期になりました。皆様のご支援で成功への御協力をお願いします。ご協力依頼内容 ①前日準備（掲示 備品準備）、②当日スタッフ（設営準備 販売要員 ガイド 下準備など）

城陽市緑化祭り（10月30日）城陽市木津川公園

京田辺市民文化祭、8mのブースが決定（11月5・6日）京田辺市中央体育館

体験参加…松かさツリーづくり 自分で作る棉菓子 販売…野菜・つる籠・柿

展示発表…竹蛇籠の生き物 タヌキマメ復活 カスミサンショウウオ再発見

草内渡しの浜親水公園 親子で遊ぼう学ぼう魚とり

城陽市環境フォーラム展示発表で参加（11月6日）城陽市文化センター

宇治市環境フェスタ（11月6日）宇治市生涯学習センター

京田辺市環境フェスタ、展示発表（11月20日）京田辺市中央公民館

ふれあい土木展（11月11日・12日）枚方市山田池（北川 近畿技術事務所）

京の川を映像で楽しむ一日 上映会（11月13日）蹴上・京都市国際交流会館 浮草物語（無声映画・活弁で）

大阪までカヌーで下る 11月20日・笠置から京田辺 26日京田辺から点野 27日点野から桜ノ宮 有料

京都府の環境フェスタ 8mのブースが決定（12月10・11日）伏見区

松かさツリーづくり 展示発表 ミニステージ発表（40分間）で参加

● 秋のハイキング の取り組みを検討しているとき 11月3日に京都府から自然観察指導員主催の八丁平への自然観察会の開催連絡が届き 4人一組で3組が申し込みをしました。その結果2組の当選が届きました。播川さんと深田さんの組が参加できることになりました。ここは 以前里山の会として参加しました。同志社大学の三角小屋があったこと、そして厳しい通路で、随分と苦勞をしたところでもありました。参加される方々には後日ガイド役をお願いしています。案内ができるよう、しっかり学習をお願いします。

● 後半の取組みチラシ感想はいかがですか、お聞かせください。ご返答をおまちしています。

● 会費未納の皆様のご協力お願いいたします。

● 木津川のアユの釣り体験観察会 11月5日（日）開橋集合 10時から15時まで

詳しくは別途お知らせします。受付人数20人（先着で受付）事務所まで申し込んでください。Fax またはメールで受付します